ごあいさつ

　国史跡高瀬遺跡に併設して立てられた井波歴史民俗資料館は昭和５１年の建設から老朽化が進み、南砺市に合併して後も博物館として存続が望まれました。

　平成２１年、耐震診断を実施し補強改修を検討しました。平成２４年には、文化庁に歴史民俗資料館を埋蔵文化財センターに転用の報告をしました。パブリックコメント、議会の承認を経て、２５年３月に条例制定により正式に南砺市埋蔵文化財センターとして承認されました。

　翌２５・２６年度と文化庁・富山県の補助を受け耐震改修工事となりました。その間、隣接する高瀬保育園の統合もあり、空き家となった保育園を分館として位置付け、改修工事期間の仮事務所として来ました。２５年は耐震壁と外壁屋根を、２６年は身障用エレベーター新設・トイレ洋式化・空調改修・照明LED・エントランスホール整備と事務所の拡張などを行いました。総工費１億円余り、お蔭さまで見違えるように素晴らしい建物となりました。

　４月から館内の展示を進め、このたびリニューアルオープンとなりました。市域の発掘された成果、南砺の祖先の歩みを展示しています。入場無料となっています。気軽に入館ください。今後は火起こしや古銭づくりなどの歴史体験ワークショップなども定期的に行い、親子で参加できるメニューも準備しています。

　６月１５日（月）には、京都国立博物館名誉館員の久保智康先生をお招きして記念講演会を、６月２０・２１日（土・日）には高瀬遺跡菖蒲まつりを盛大に開催し、歴史体験ワークショップもさらに磨きをかけて行いたいと考えています。

　今後とも、親しまれる楽しい館となりますよう努めて参りたく、ご支援いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

　平成２７年５月

　　　　　　　　　　　　　　　　　　南砺市埋蔵文化財センター

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所長　松　平　信　隆